

～ZEB Ready庁舎について～

新庁舎建設基本設計において、新庁舎では徹底した省エネ手法を採用し、ZEB Ready (ゼブレディ) 庁舎を計画することとしています。今回は、新庁舎が目指すZEB Readyについてお知らせします。

ZEBとは？

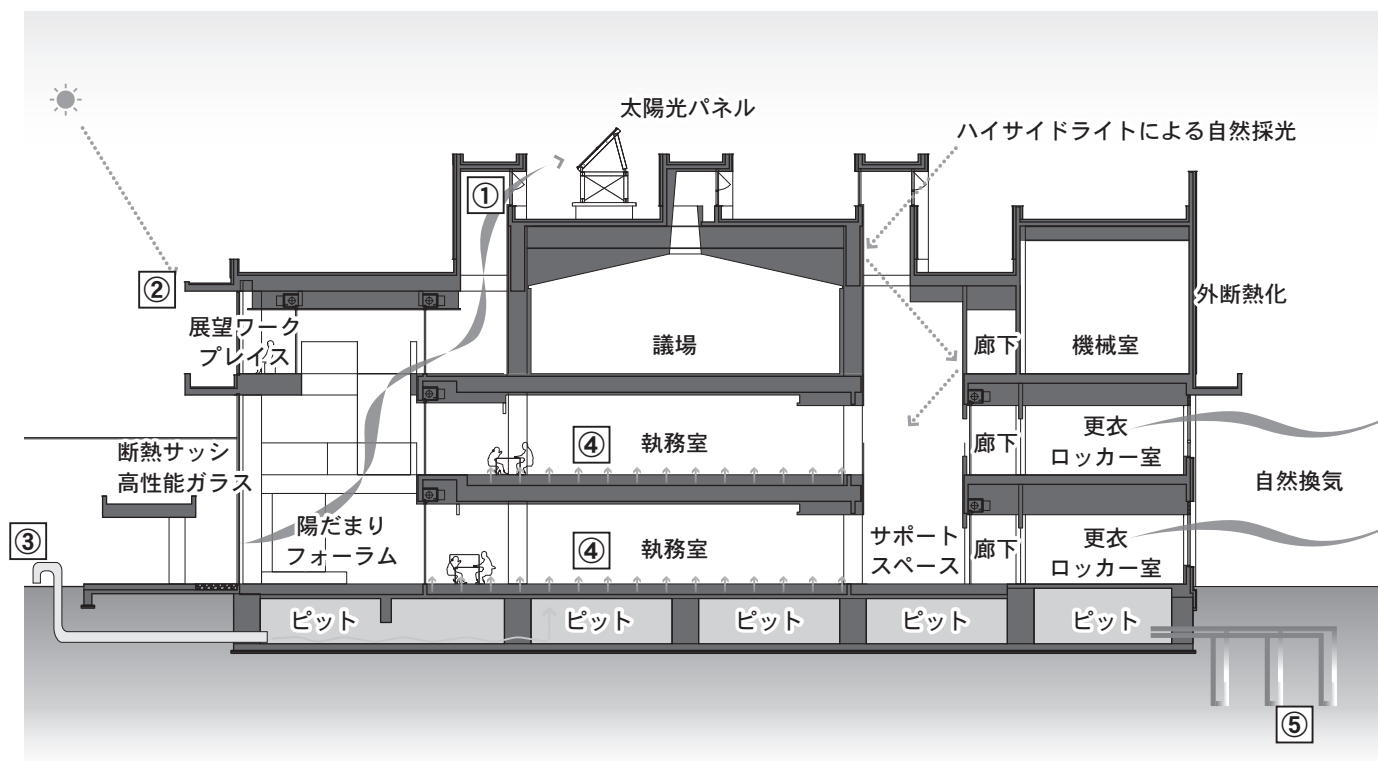
ZEBとは、エネルギー負荷の抑制や自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を保ちながら大幅な省エネルギー化を実現し、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物のことで、省エネと創エネで100%以上を削減するZEB、省エネと創エネで75%以上を削減するNearly ZEB、省エネで50%以上を削減するZEB Ready、省エネで30%以上を削減するZEB Orientedの4段階があります。

新庁舎が目指す省エネ

このうち、遠軽町では、高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物であるZEB Readyを目指すこととしており、これにより、50%以上のエネルギー消費量の削減を実現することとなります。

新庁舎では、断熱サッシや高性能ガラスの採用、地中熱ヒートポンプによる冷暖房、床吹出し空調による空調エネルギー消費の抑制、LED照明や人感センサーによる照明エネルギーの抑制により、徹底した省エネルギー化を図ります。

新庁舎に導入する省エネ設備



- ①自然通風：温度差を利用した重力換気
- ②日よけ庇：夏の日射抑制
- ③アースピット：通年安定した地中熱による予冷予熱
- ④床吹出し空調：効率的な空調システム
- ⑤地中熱ヒートポンプ：執務室の空調利用

※「新庁舎建設特集」は随時お知らせしています。

問総務課 ☎42 - 4811

町ホームページ
(新庁舎建設サイト)

